

関係機関・団体・課・室長 様

兵庫県農政環境部長

令和 2 年度 兵庫県農業気象技術情報第 1 号 (5 月情報) について (送付)

このことについて、下記のとおり情報を作成しましたのでお送りします。

記

1 気象経過・予報から想定される栽培上の留意点と対応策

作物	地域	栽培上の留意点	対 応 策
水稲	全 県 共 通	<p>1 生育 気温、降水量、日照時間は平年並みと予想される。苗の温度管理に留意する。</p> <p>2 病害虫 苗いもちの発生に留意する。 苗立枯病の発生は育苗期の急激な温度変化により助長される。</p>	<p>1 生育 浸種時間を適切に取り、十分に催芽させて播種する。播種はうす播きにし、育苗時の温度管理と灌水に留意するとともに、軟弱徒長しないように健苗の育成に努める。 白化苗を防止するため、緑化前の苗では寒冷紗等で、3～4日被覆し、徐々に馴らす。 ムレ苗を防止するため、トンネル内の換気に努め、急激な温度変化を避ける。</p> <p>2 病害虫 種子消毒時の薬液の温度を10℃以下にならないように留意する。 苗いもちの発生を防ぐため、もみ殻・わら等の伝染源は周囲から除去する。 発病を未然に防ぐため、トンネル内の換気に努め、過湿を避ける。 夜間の過湿を避けるため、夕方の灌水はしない。 苗いもち、苗立枯病が発生したら、薬剤防除を行う。</p>
麦	全 県 共 通	<p>1 生育 出穂期は平年に比べ15日早くなっており、成熟期は平年よりかなり早くなると予想される。ただし、播種時期により出穂期に差がみられる。</p>	<p>1 生育 排水溝の手直しを徹底して、排水対策に努める。特に乗用管理機による赤かび病防除後は、車輪で崩れた排水溝の手直しをしっかりと行う。 成熟期が早まると予想されるので、子実水分が20%以下を目標に、適期収穫に努める。</p>

農業技術センター(加西市)における生育状況

	本年 ^{※1}	平 年 ^{※2}	
	出穂期	出穂期	成熟期
シロガネコムギ	3/31	4/15	6/3

※1 播種は 11月 8 日 (平年比+1日)
※2 平年は直近7ヶ年から最高・最低を除いた平均値

<p>2 病害虫 降水量は平年より少ないと予想されるが、赤かび病は開花期の高温・多雨で多発しやすいので発生に留意する。</p>	<p>2 病害虫 発病を未然に防ぐために、小麦、大麦ともに開花始期から開花期までの間に1回目、さらに10日後に2回目の薬剤散布を行う。 ※「令和元年度病害虫発生予察防除情報第8号」 http://hyogo-nourinsuisangc.jp/chuo/bojo/31boujyo8.pdfを参照のこと。</p>
--	--

作物	地域	栽培上の留意点	対 応 策								
キャベツ	全県共通	<p>1 生育</p> <p>(1) 初夏どりでは、肥料切れを起こさないようにする。</p> <p>(2) 雑草の防除時期を逸しないよう、注意する。</p> <p>(3) 降雨による滞水を避ける。</p> <p>(4) 降雨がなく乾燥が続く場合、球内のチップバーンの発生に注意する。</p> <p>(5) 生育適温下での降雨等により、急激に結球肥大が進むと裂球の発生が懸念される。</p> <p>2 病害虫</p> <p>菌核病、コナガの発生とも平年並みと予想される。例年より早く3月にヨウトウガ成虫の発生がみられており、次世代幼虫の早期発生と加害の長期化が予想される。</p>	<p>1 生育</p> <p>(1) タイミングを逃さないよう適期に追肥を行う。</p> <p>(2) 雑草の発生前～初期に中耕を兼ねて除草する。</p> <p>(3) 畝間の中耕培土、落水口への確実な連結により排水性を高める。</p> <p>(4) 10日以上降雨がない場合、畝間灌水等を行う。作土が浅いほ場では特に土壌の乾燥に注意する。</p> <p>(5) 春キャベツでは8分結球程度で、初夏どりでは締まり具合を確認し、球のしまったものから順次収穫する。</p> <p>2 病害虫</p> <p>「令和2年度病害虫発生予報第1号」http://hyogo-nourinsuisangc.jp/chuo/bo.jo/02yoho1.pdf 「病害虫・雑草防除指導指針（兵庫県農薬情報システム）」http://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/hyogoを参考に適正に防除する。</p>								
果樹	全県共通	<p>1 生育</p> <p>(1) 生育は県北中部では昨年比で早く、平年比も早い。県南部では昨年比、平年比ともに早い。</p> <p>農業技術センターにおける樹種別の生育状況</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>クリ※¹</td> <td>展葉昨年比2日遅い（平年並み）</td> </tr> <tr> <td>ブドウ※¹</td> <td>発芽、展葉とも昨年比数日早い見込み（平年比やや早い見込み）</td> </tr> <tr> <td>ナシ※²</td> <td>満開期昨年比7日程度早い見込み（平年比6日程度早い見込み）</td> </tr> <tr> <td>温州ミカン※³</td> <td>発芽昨年並み（平年比8日早い）</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 加西市 ※2 朝来市 ※3 南あわじ市</p> <p>(2) ナシ（北但地区）では開花期の天候の影響を見極めた結実管理に努める。</p> <p>(3) 幼木は乾燥による生育不良にならないよう留意する。</p> <p>(4) 晩霜害をうけた園では適切な対応を行う。</p>	クリ※ ¹	展葉昨年比2日遅い（平年並み）	ブドウ※ ¹	発芽、展葉とも昨年比数日早い見込み（平年比やや早い見込み）	ナシ※ ²	満開期昨年比7日程度早い見込み（平年比6日程度早い見込み）	温州ミカン※ ³	発芽昨年並み（平年比8日早い）	<p>1 生育</p> <p>(1) 生育に合わせて着果管理や防除の時期を見極め、適期管理に努める。</p> <p>(2) 摘果時に障害果等の判別を慎重に行う。</p> <p>(3) 土壌が乾燥する場合は、灌水を行う。</p> <p>(4) 晩霜害等による被害果がある場合は、果実を見極めるため摘果を遅らせる。 凍害をうけたクリ、サンショウ、イチジク樹では、発芽、展葉が健全な部分まで早めに切り戻し、新梢伸長を促す。</p>
クリ※ ¹	展葉昨年比2日遅い（平年並み）										
ブドウ※ ¹	発芽、展葉とも昨年比数日早い見込み（平年比やや早い見込み）										
ナシ※ ²	満開期昨年比7日程度早い見込み（平年比6日程度早い見込み）										
温州ミカン※ ³	発芽昨年並み（平年比8日早い）										

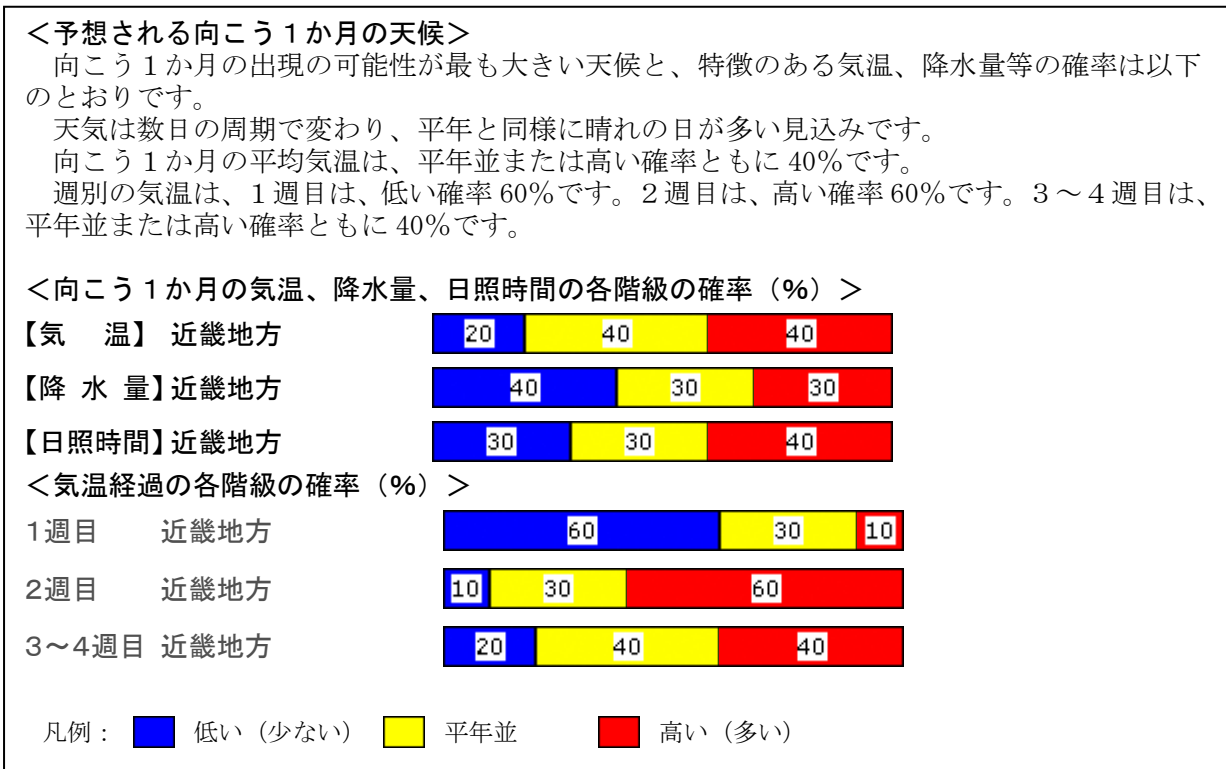
◎水稲・麦の栽培については、「稲・麦・大豆作等指導指針」を、防除については「病害虫発生予察情報」及び「病害虫・雑草防除指導指針（兵庫県農薬情報システム）」を参考にすること。

※本情報は、4月27日時点のデータを元に作成しています。

2 気象予報

(1)近畿地方の向こう1か月予報（4月25日～5月24日）

[令和2年4月23日 大阪管区气象台発表]



(2)近畿地方の向こう3か月予報（5月～7月）

[令和2年4月24日 大阪管区气象台発表]



※ 気温・降水量・日照時間は低い・平年並・高い（少ない・平年並・多い）の3階級で予報されます。階級の幅は、平年値の作成期間（1981～2010年）における各階級の出現率が33%となるように決めてあります。

ホームページアドレス

- ・「病害虫発生予察情報」
<http://hyogo-nourinsuisangc.jp/chuo/bojo/index.htm>
- ・「病害虫・雑草防除指導指針（兵庫県農薬情報システム）」
<http://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>
- ・「稲・麦・大豆作等指導指針」
http://web.pref.hyogo.lg.jp/nk12/af11_000000107.html
- ・「小麦赤かび病を適期に防除するための開花期予測システム」
http://www.naro.affrc.go.jp/project/results/laboratory/karc/2011/180a0_01_33.html

問い合わせ先

本情報に関すること

- ・兵庫県農政環境部農林水産局農産園芸課 TEL (078)341-7711(代表)
農産班:主作・機械担当 内線 4069
農産班:野菜担当 内線 4054
花き果樹班 内線 4066

技術内容に関すること

- ・県立農林水産技術総合センター
企画調整・経営支援部 TEL (0790)47-2435
農業技術センター 農産園芸部 TEL (0790)47-2410
農業技術センター 病害虫部 TEL (0790)47-1222
北部農業技術センター 農業・加工流通部 TEL (079)674-1230
淡路農業技術センター 農業部 TEL (0799)42-4880

兵庫県ホームページでも本情報を公開しています。

URL : http://web.pref.hyogo.lg.jp/af11/af11_000000097.html

(兵庫県トップページ>食・農林水産>農業>農作物>農業気象技術情報)